

【学位論文の審査基準】

金沢工業大学大学院工学研究科、心理科学研究科、及びイノベーションマネジメント研究科における学位論文は、学位授与方針に基づき、以下の基準で審査され、その成績は総合的に判断される。

【博士後期課程】

1. 学位申請者が主体的に取り組んだ研究をまとめたものであること。
2. 先行研究との関係を明確に示しており、学術的背景と社会的な意義を有していること。
3. 論文の構成、論旨、参考文献、引用資料、補足資料などが的確であること。
4. 明確な問題意識、問題分析に基づいて研究を適切に実施し、その成果を評価した上で、結論を導いていること。
5. 研究の成果に、新規性、独創性、有効性等を含み、当該分野の学問の発展に貢献できる内容であること。
6. 研究の内容は、学校法人金沢工業大学研究倫理規程を遵守していること。
7. 審査会における博士学位論文の発表と質疑に対する応答が、論理的かつ明確に行われていること。

【博士前期課程（修士課程）】

◆工学研究科及び心理科学研究科

1. 学位申請者が取り組んだ研究または特定の課題をまとめたものであること。
2. 研究または特定の課題の学術的背景と社会的な意義を有していること。
3. 論文の構成、論旨、参考文献、引用資料、補足資料などが的確であること。
4. 明確な問題意識、問題分析に基づいて適切に研究を実施し、その成果を評価した上で、結論を導いていること。
5. 研究または特定の課題の成果は、新規性、独創性、有効性等を含んでいること。
6. 研究または特定の課題の内容は、学校法人金沢工業大学研究倫理規程を遵守していること。
7. 審査会における修士学位論文の発表と質疑に対する応答が、論理的かつ明確に行われていること。

◆イノベーションマネジメント研究科

・研究論文タイプ

次の項目について審査し、評価を行う。

1. 修士として相応しい専門知識（経営または知的財産マネジメント）を修得している
2. 問題意識にそって、論旨が明確で、一貫性がある
3. 学術論文としての表現に説得力があり、的確である
4. 資料、調査等の取り扱いが正確である
5. 先行研究をしっかりとフォローしている
6. 全体の論文構成が体系的である
7. 学術的な新規性、有用性がみられる
8. 研究の内容は学校法人金沢工業大学研究倫理規程を遵守している

・プロジェクトレポートタイプ

プロジェクトレポートタイプは、実際の社会や企業等に関するテーマの調査、課題の抽出、課題解決の計画、課題解決の計画実施という一連のサイクルの過程と結果を報告するものである。これを踏まえて、次の項目について審査し、評価を行う。

1. 修士として相応しい専門知識（経営または知的財産マネジメント）を修得している
2. 実際の社会や企業等の課題に対して具体的な解答を与えている
3. プロジェクトレポートとして、論旨が明確である
4. 全体の構成にまとまりがある
5. 先行研究を参照している
6. 資料、新規な調査等を十分に活用し、考察を行っている
7. 研究に新規性、有用性がみられる
8. 研究の内容は学校法人金沢工業大学研究倫理規程を遵守している